



「YMCAでの2年間」

盛岡大学短期大学部2年 渥美 百恵(ニョッキ)

私のYMCAは、高3の夏、オープンキャンパスに行ったときにYのチラシを見たのが始まりだ。入学してから1年間ほとんどの活動に行った。北上からの通いや短大の忙しさから、親や先生からは辞めた方がいいと言われていた。それでも本町サッカーもサンデースクールもアドベンチャーも宮古の活動もリーダーサッカーも全部が楽しくて大好きだった。

特に私が好きだったのは宮古の活動だ。大好きな先輩リーダーが宮古の活動に行っていたから始めた。宮古は毎月活動に参加する子やサッカーをしている子が多いため、ほぼ顔見知りなところが好きだ。用事があって活動に参加できなかったとき、「なんで今日ニョッキいないの?」と子どもが言っていたという話を聞いてすごく嬉しかったのを覚えている。そのときに毎月集まるメンバーに混ざれたんだなあと思った。昨年の宮古のキャンプではメインを務めた。

初めての(※1)メインは、準備も協力もうまくできずにどうしていいか毎日不安だった。こんなメインだったから他のリーダーはもっと不安だったと思うのに一緒に頑張ってくれたことに感謝している。

スタッフ、リーダーの協力もあってキャンプは無事行うことができた。不安ばかりで失敗もあったけど、子ども達もリーダーも全力で関わっていたので、すごく楽しかった。もっと準備をしたり、確認を取りあえてたらもっと楽しく来年はできるなあと思った。「来年も一緒にキャンプしようね、絶対来るからね!」と子どもに言われて思い出した。今年で最後か。家に帰って泣いた。本当はみんなと一緒にあと2年活動を続けたかった。もっといろんな活動に行ってみたかった。来年も宮古の子達とキャンプをしたかった。2年間で、自分が思っていた以上に特別な場所になっていた。春から関東で保育士になる。自分の保育する子ども達も、元気で自由でつよい子に、いっぱい自分で考える子になってほしいなあ。Yの子ども達を見てそう思った。によっきのまままで保育士になりたい。

2年間ありがとうございました。

(※1)チーフリーダーのこと



盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。